

「Tongaliビジネスプランコンテスト2024」で 2つの学生チームが入賞

【概要】

令和6年6月15日（土）に開催された学生発ベンチャーの創出と起業家育成を目的としたコンテスト「Tongaliビジネスプランコンテスト2024」において、本学学生チームが優れた成績を収めました。

今年は予選で過去最多の65チームが参加し、その予選・準決勝を勝ち抜いた16チームが競い合う決勝の舞台で、本学から参加した2チームが見事に入賞（5位以内）を果たしました。複数チームが入賞を果たすのは本学にとって3年連続の快挙です。

7月4日（木）には、入賞した2チームの学生が学長室を訪問し、受賞の報告を行いました。入賞者からはコンテストで披露したビジネスプランの報告があり、優秀賞チーム「GenomicGarden」代表の斉藤海星さんは、「ダメ元で挑戦したコンテストでしたが、優秀賞・海外チャレンジ賞を受賞することができうれしく思います。私たちのアイデアが評価され、自信につながりましたし、今後もこの経験を活かして、更に活動を展開していきたいです」と語りました。また、5位チーム「乳牛を救いたい」代表の山本真菜さんは、「乳牛を救いたいという思いで、チーム一丸となって努力した結果が報われてうれしいです。この経験を通じて多くのことを学びましたし、今後も挑戦を続けていきたいです」と述べ、それぞれ入賞の喜びや今後の抱負を吉田学長に伝えました。

吉田学長からは、「今回の入賞は皆さんの努力と創造力の賜物です。素晴らしい成果を挙げられたこと、また岐阜大学が3年連続で複数チーム入賞を果たしたこと大変うれしく思います。これからも常に学び、自分たちの可能性を信じて何事にも挑戦してください。皆さんの成長と成功を応援しています」と激励がありました。

本学は今後も学生たちの挑戦と成長を全力でサポートし、「学び、究め、貢献する」人材の輩出に努めてまいります。

入賞した学生チームのメンバーは以下のとおりです。

■チーム「GenomicGarden」

テーマ：ミニブタを用いたPharm Technology

代表：応用生物科学部共同獣医学科4年 斉藤 海星

メンバー：高等研究院 高須 正規准教授、杷野 一輝研究員

受賞名：Tongali賞 優秀賞（2位）、海外チャレンジ賞

■チーム「乳牛を救いたい」

テーマ：いちごで飛驒牛！？

代表：自然科学技術研究科生命科学・化学専攻1年 山本 真菜

メンバー：自然科学技術研究科生命科学・化学専攻1年 山本 慶香、寺田 昂太郎、
近間 琴海

受賞名：Tongali賞 5位、OKB賞

「Tongaliビジネスプランコンテスト2024」で2つの学生チームが入賞



コンテスト当日の様子：斉藤さんによる発表の様子



コンテスト当日の様子：
チーム「乳牛を救いたい」入場シーン



吉田学長への入賞報告の様子



記念写真
(奥左から)大藪副学長、吉田学長、上原教授
(手前左から)斉藤さん、山本真菜さん、山本慶香さん、
近間さん、寺田さん

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2024/7/5	岐阜	中高生・学生ビジネスプランコンテスト 岐阜大生2チーム 全国入賞 ～応用生物科学部共同獣医学科4年 斉藤海星さん、 自然科学技術研究科1年 山本真菜さん、山本慶香さん、 寺田昂太郎さん、近間琴海さん～
2024/7/24	中日	岐阜大チーム2位、5位 トンガリビジネスプランコン 臓 器移植用のミニブタ生産推進／イチゴのはで飛驒牛の受精率 向上 ～応用生物科学部共同獣医学科4年 斉藤海星さん、 自然科学技術研究科1年 山下真菜さん、山本慶香さん、寺 田昂太郎さん、近間琴海さん～